

農業機械の同一型式・別型式判定要領（2020年度版 Ver1.0）

2019年基準安全装備検査	2018年基準安全装備検査																					
<p>安全装備検査の構造変更等において、同一型式としての判定は、次頁から示す表中に記載された各項目の変更に対する判断に基づいて行います。</p> <p>表中の「判断」の欄の記号の意味は、以下のようになります。</p> <p>○：同一型式として判定できるもの</p> <p>△：指定の範囲、あるいは変更の内容により同一型式と判定できるもの</p> <p>×：同一型式として判定できないもの</p>	<p>次頁以降の表は下記の様に記入されていますが、その見方は次のようになります。</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">別型式</th> <th style="width: 33%;">構造変更等 同一型式</th> <th style="width: 33%;">分類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>×</td> <td></td> <td>①</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>②</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>±10%以下</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>10%以下^{*1}</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>±10%以下</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>△</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：依頼者において最も標準的な仕様とされた寸法等に対する百分率</p> <p>分類（①～⑥）の説明</p> <p>①この項目に該当するものを変更した場合は別型式となります。</p> <p>②この項目に該当する場合は同一型式です。</p> <p>③この範囲のものは同一型式、超えるものは別型式となります。</p> <p>④対象となる二つ以上の寸法等について、最大の値と最小の値の差の最大に対する百分率で、この範囲にあるものは同一型式、超えるものは別型式となります。</p> <p>⑤この範囲のものは同一型式、超えるものは変更の内容により同一型式か別型式かの判定を行います。</p> <p>⑥変更の内容により同一型式か別型式かの判定を行います。</p> <p>注1）同一型式の場合は、構造変更で処理出来ます。この場合、既に安全性検査に合格している型式の寸法が基準となります。</p> <p>注2）別型式の場合は、新規に安全装備検査を受ける必要があります。</p>	別型式	構造変更等 同一型式	分類	×		①		○	②	×	±10%以下	③	×	10%以下 ^{*1}	④	△	±10%以下	⑤	△	△	⑥
別型式	構造変更等 同一型式	分類																				
×		①																				
	○	②																				
×	±10%以下	③																				
×	10%以下 ^{*1}	④																				
△	±10%以下	⑤																				
△	△	⑥																				

2019年基準安全装備検査				2018年基準安全装備検査					
1. 農用トラクター（乗用型）				1. 農用トラクター（乗用型）					
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考		
形式	車輪式、装軌式、半装軌式、 四輪装軌式の別	×		種類	2 駆・4 駆の別	×			
	自動操舵装置	△	※1		車輪・履帯の別	×			
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※2	大 全 全	全長	△	±10%以下	※1	
	質量（前輪・後輪・合計）	△			全幅	△	±10%以下	※1	
	軸距	△	±5%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	全高	△	±10%以下	※1		
機関	種類/型式	×		質 量	前後輪	△	±10%以下	※1	
	定格出力	×			合計	△	±10%以下	※1	
	機関その他の仕様	○			軸距	△	±10%以下	※1	
伝動 装置	クラッチ	○		軸 距	前後輪		○		
	変速装置	△	※3				○		
	走行装置	○		軸 距		△	±5%以下		
	デフロック	○		機 関	種類	×			
PTO	○		冷却方式		×				
作業機 昇降装 置	作業機装着装置	○			呼称出力	×			
		油圧装置	○			定格回転速度	×		
けん引装置	○				シリンダー数	×			
		ボアストローク			×				
			総排気量		×				
			圧縮比		×				
			燃焼室		×				
			燃料の種類		×				
			噴射ホフの製造者・型式				○		
			噴射ノズルの製造者・型式				○		
			設定噴射量		△		△		
			噴射圧力			○			
			ガバナ形式			○			
			機関速度の調速範囲			○			
			燃料供給方式			○			
			燃料タンク容量			○			
			エアクリーナ形式			○			
			E7・フレクリーナの有無			○			

2019年基準安全装備検査			2018年基準安全装備検査		
かじ取り装置	○		潤滑系統形式	○	
制動装置	○		オイルフィルタの形式・材質	○	
走行装置	○		始動系統形式	○	
防水対策	○		低温時の始動補助	○	
座席	○		電気系統電圧	○	
照明装置等	○		発電機の形式	○	
附属計器類	○		バッテリーの形式・個数	○	
自動化装置	○	※4	クラッチ形式	○	※2
安全防護装置	△		変速機形式	○	
			変速機変速段数	○	
			減速装置	○	
			走行速度	○	
			デフロック装置	○	
			主位置	○	
			地上高	○	
			規格	○	
			回転速度	○	
			制御方式	△	±10%以下 ±5%以下
			作業油吐出量	○	
			最高作動圧力	○	
			作業機装着装置	○	
			作業機装着時の	○	
			ロックの方法	○	
			油圧外部取出栓の有無	○	
			けん引装置	○	
			リンケージドロバー	○	
			スイングドロバー	○	
			ヒッチ	○	
			かじ取装置	○	
			リンク形式	○	
			歯車形式	○	
			機械式と油圧式	○	
			倍力装置	○	

※1 新たにロボット・自動化農機検査を必要とするものは別型式

※2 同一型式と認められるタイヤ等の変更や安全フレーム又は安全キャブの装着に関連して10%を超える場合は同一型式

※3 油圧式と機械式は別型式

※4 ロボット化のための装置は含まない

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

制動装置	形式 駐車ブレーキ形式		○ ○	
走行装置	操向タイヤサイズ	幅径	○ ○	
	駆動タイヤサイズ	幅径	○ ○	
防水対策	シールの形式		○	
	シールの寸法		○	
座席	形状 懸架形式		○ ○	
	上下・前後の 調節範囲		○	
照明装置等			○	
付属計器類			○	
自動化装置			○	
安全防護装置			○	

※1：同一型式と認められるタイヤの変更や安全フレーム又は安全キャブの装着に関連して10%をこえる場合は同一型式とし、構造変更で処理できます。

※2：油圧式と機械式は別型式とします。

(注) 変更される個々の項目については、上記の判定のとおりであるが、変更される項目の組み合わせによっては、別種の判定を行うことがある。

2019年基準安全装備検査

2. 農用トラクター（歩行型）

項目		判断	備考
形式		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
伝動装置		○	
走行装置		○	
PTO		○	
ロータリ		○	
安全防護装置		△	

2018年基準安全装備検査

2. 農用トラクター（歩行型）

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類		×		
大きさ	全長	△	±10%以下	
	全幅	△	±10%以下	
	全高	△	±10%以下	
	質量	△	±10%以下	
機関	型式名		○	同一種類の機関に適用
	種類		○	
	定格出力	×	○	
	定格回転速度	×	-20~+10%	
	始動方式		○	
伝動装置	燃料タンク容量		○	
	点灯装置		○	
	伝動方式	△	△	
変速段数	主変速	前進	△	
		後進	△	
	副変速	ベルト変速	△	○
走行部	タイヤ 輪距の範囲 車軸（径×長さ）		○	
			○	
	走行速度	前進		○
	後進		○	
	車軸回転速度	△	△	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

P T O 軸 回 転 速 度		△	△	
制 動 方 式			○	
ロータリー	種 類		○	サイドドライブ式は±15%以下
	駆 動 方 式		○	
	変 速 段 数		○	
	耕 う ん 幅		○	
	耕 う ん 刃		○	
	トラクターへの装着法		○	

2019 年基準安全装備検査

3. 田植機

項目		判断	備考
形式	乗用型(自走/搭載)・歩行型、2 駆・4 駆の別	×	
	自動操舵装置	△	※1
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%以下、対象は本機のみ (これを超えるものは、変更の内容により判断)
	質量	△	
	軸距	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
伝動装置		○	
機体支持方式(歩行型の場合)		×	車輪・フロート併用の別
走行装置		○	
制動装置		○	
貯苗部		○	
植付部	植付方式	×	
	運動機構	×	
	条数	×	
	植付部その他の仕様	○	

2018 年基準安全装備検査

3. 田植機

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類	歩行型、乗用型(自走式) 乗用型(搭載式)の別	×		
	2 駆・4 駆の別 (自走乗用の場合)	×		
大きさ	全長	△	±10%以下 ±10%以下 ±10%以下 ±10%以下	大きさは本機のみ
	全幅	△		
	全高	△		
	全重	△		
機関	型式名		○	
	種類		○	
	連続定格出力		○	
	連続定格回転速度		○	
伝動装置	クラッチ形式	×	○	油圧式・機械式の別
	変速機形式			
	変速段		○	
	前進追加 後進追加		○	
減速装置	減速装置	△	○	±5%以下 ○ ○ ○
	車軸回転速度(作業時)			
	車軸回転速度(走行時)			
	植付爪駆動軸回転速度 クラッチ操作方法			
機体支持方式 (歩行型の場合)		×		車輪・フロート併用の
走行装置	車輪の懸架方式	×		スイングアキル式・全浮動式・センターピボット式等の別
	輪距・軸距	△	±10%以下	

2019 年基準安全装備検査

株間・植付深さ調節	○	
ハンドル形状	○	
自動化装置	○	※2
安全防護装置	△	
その他の 装備	車輪深さ制御装置(歩行型)	○
	あぜぎわ処理装置(歩行型)	○

※1 新たにロボット・自動化農機検査を必要とするものは別型式

※2 ロボット化のための装置は含まない

2018 年基準安全装備検査

車輪	種類	×	○		
	個数 直径		○		
フロート	取付方式	×	○		
	個数 幅	△	±10%以下		
	接地長さ 接地面積		○ ○		
制動 装置	形 式		○		
	駐車ブレーキ 操作方法		○		
貯 苗 部	苗供給方法 苗載台の大きさ(長さ)		○ ○	自動式・手動式の別 大きさの異なる苗箱を使用する 構造のものは別型式	
	苗載台下部傾斜角		○		
	苗 送 り	横送 り	送り方式 送り量	○ ○	機械式・油圧式の別
		縦送 り	送り方式送 り量	○ ○	
苗載台の傾斜方向		×			

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

植 付 部	植付方式 運動機構	×		
	条数 条間	×		
	植付爪の種類 破損防止装置	△	○ △	
	装着方式(乗用型の場合) 高さ制御装置(乗用型の場合)		○ ○ ○	三点リンク、平行リンクの別
	昇降方式(乗用型の場合) 位置	×	○	機械式・油圧式の別 前部・後部の別
	株間 調節		○ ○	
	植付深 さ調節	調節範囲及び 調節段 調節方法		○ ○
ハンドル形状			○	
安全装備			○	
その他 の装備	車輪深さ制御装置(歩 行型の場合)		○	
	あぜぎわ処理装置(歩 行型の場合)		○	

2019年基準安全装備検査				2018年基準安全装備検査				
4. 野菜移植機				4. 野菜移植機				
項目		判断	備考	項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
形式	乗用型(自走/搭載)・歩行型、車輪式・履帯式の別	×		種類	乗用型(自走・搭載)・歩行型の別	×		
	苗供給方式	×			苗供給方式	×		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%以下(これを超えるものは、変更の内容により判断)	大きさ	全長	△	±10%以下	
	質量	△			全幅	△	±10%以下	
機関	種類/型式	×			全高	△	±10%以下	
	定格出力	×			質量	△	±10%以下	
	機関その他の仕様	○		型式名		○		
伝動装置		○		機関	種類		○	
走行装置		○			定格出力		○	
制動装置		○			定格回転速度		○	
貯苗・苗供給部	苗の種類と大きさ	○			始動方式		○	
	苗取出方式(全自動)	×		クラッチ形式		○		
	貯苗・苗供給部その他の仕様	○		変速機形式	×		油圧式・機械式の別	
植付部	植付方式	×		変速段	前進追加		○	
	条数	×			後進追加			○
	位置(乗用型)	×	機体中央、後部の別	装置	車軸回転速度(作業時)	△	±5%以下	
	植付部その他の仕様	○			車軸回転速度(走行時)			○
				クラッチ操作方法			○	

2019 年基準安全装備検査

株間・植付深さ調節	○	
ハンドル形状	○	
自動化装置	○	※1
安全防護装置	△	
その他の装置	灌水装置の有無	○
	マルチカットの有無	○

※1 ロボット化のための装置は含まない

2018 年基準安全装備検査

走行装置	走行形式	×		車輪式・クローラ式の別	
	輪距・軸距	△	±10%以下		
	車輪	種類		○	
		個数	×		
	直径		○		
制動装置	形式		○		
	駐車ブレーキ操作方法		○		
貯苗部・苗供給部	苗の種類と大きさ	△	△		
	トレイの大きさ(全自動)		○		
	苗取出方式(全自動)	△	△	苗取出方法・機構等	
	ターンテーブル(半自動)	△	△	回転周速度・機構等	
植付部	植付方式	×			
	条数	×			
	条間		○		
	装着方式(乗用型の場合)		○		
	昇降方式(乗用型の場合)		○		
	位置(乗用型の場合)	×		機体中央・後部の別	
	植付高さ制御方式		○		
覆土方式		○			
株間調節	調節範囲及び調節段		○		
	調節方法		○		
植付深さ調節	調節範囲及び調節段		○		
	調節方法		○		
その他の装置	灌水装置の有無		○		
	マルチカットの有無		○		

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査				
5. 尿散布機(タンク車型)				5. 尿散布機(タンク車型)				
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考	
形式		×	自走式/けん引式等	種類	×			
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10% (これを超えるものは、 変更の内容により判定)	大きさ	全長	△	±10%以下	
	質量	△			全幅	△	±10%以下	
機関	種類/型式	×			全高	△	±10%以下	
	定格出力	×			質量	△	±10%以下	
	機関その他の仕様	○		型式名		○		
糞尿処理の可否		×		機種		○	同一種類の機関について適用	
ポンプ		△		定格出力		○		
安全防護装置		△		定格回転速度	×	-10~+20%		
その他の仕様		△		始動方式		○		
糞尿処理の可否				糞尿処理の可否				
真空ポンプ	形式	×		真形式	×		その他のポンプ 吸入揚程最大 吐出揚程最大 排出量	
	常用回転速度	△		常用回転速度	△	±10%以下		
	常用真空度	△		常用真空度	△	±10%以下		
	常用吐出圧力	△		常用吐出圧力	△	±10%以下		
理論排気速度	△		理論排気速度	△	±10%以下			
糞尿タンク容量				糞尿タンク容量				
吸込ホースの長さ				吸込ホースの長さ				
ノズルの種類				ノズルの種類				
常用散布幅				常用散布幅				
散布方式				散布方式				
車輪				車輪				
制動方式				制動方式				
ポンプの駆動方式				ポンプの駆動方式				

2019 年基準安全装備検査

6. スピードスプレヤー

項目		判断	備考
形式	機体形式	×	歩行型/乗用型・自走/搭載/ けん引・車輪式/履帯式・車輪 数・2 駆/4 駆
	散布形式	○	立木/棚 片側/両側
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10% (これを超えるものは、 変更の内容により判定)
	質量	△	
	轴距	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他仕様	○	
走行部	変速装置	△	
伝導部	走行/伝動部その他の仕様	○	
装着・けん引方式		○	
給水ポンプ		○	
薬液タンク	呼称容量	△	0~10%超は別型式
	薬液タンクその他の仕様	○	
攪拌装置		○	

2018 年基準安全装備検査

6. スピードスプレヤー

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
大きさ	全長	△	±10%以下	
	全幅	△	±10%以下	
	全高	△	±10%以下	
	質量	△	±10%以下	
機関	燃料の種類		○	
	出力		○	
	回転速度		○	
	総排気量		○	
	行程数		○	
	気筒数		○	
走行部	冷却方式		○	自走、搭載、けん引式の別 3、4、6、8 輪式の別
	始動方式		○	
	形	×	○	
	車輪数	×		
	車輪寸法		±5%以下	
	轴距	△	±5%以下	
	轴距	△	○	
	最低地上高		○	
	速度段数		○	
	作業速度		○	
変速機構	×	○		
2 駆・4 駆の別	×			
倍力装置		○	油圧式、機械式の別	
装着方式			○	
けん引方式			○	

2019 年基準安全装備検査			2018 年基準安全装備検査			
噴霧用 ポンプ	形式	×	有形 ホース長さ ホース内径 逆流防止装置 常用回転速度 駆動圧力	無 式	○	
	連数/段数	×			○	
	単動/複動・縦型/横型	×			○	
	噴霧用ポンプその他の仕様	○			○	
薬液混合機		○	薬液 タンク	呼称容量	△	0~+10%
送風機		形式		形状	○	
噴頭	送風機その他の仕様	○	か く は ん 装 置	方 式	○	○
	回動の有無	△		機 械 式 回 転 速 度		
SSノズル	噴頭その他の仕様	○	余 水 式 余 水 量	〃 羽 根 形 状	○	○
	調節ノズル	○		〃 軸 封 装 置		
配管系統	SSノズル	○	噴 霧 用 ポ ン プ	〃 圧 力	○	○
被曝防護対策	調節ノズル	○	噴 霧 用 ポ ン プ	形 式	×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
安全防護装置	安全防護装置	△		連 数 、 段 数	×	
				単 動 、 複 動 の 別	×	
				た て 型 、 よ こ 型 の 別	×	
				吸 入 弁		
				吐 出 弁		
				調 圧 弁		
				往 復 動 ポン プ 吸 入 口 径		
				〃 吐 出 口 径		
				〃 余 水 口 径		
			空 気 室			
			う ず 巻 ポン プ 吸 入 口 径			
			〃 吐 出 口 径			
			〃 余 水 口 径			
			羽 根 直 径			
			〃 幅			
			〃 枚 数			

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

噴霧用ポンプ	常用回転速度 常用吐出圧力		○ ○	吐出量の変更により高性能の類別が変わる場合は別型式 同上
薬液混合機	有形式 無形式		○ ○	
種類	立木・棚作り兼用の別 両側・片側散布の別		○ ○	
送風機	形式 回転速度 回転翼枚数 固定翼枚数 翼形(厚さ、幅) 羽根外径	×	○ ○ ○ ○ ○	
噴頭	開口幅 回転の有無 導風板の有無	△	○ △ ○	
SSノズル等	種類 個数 穴径 配列		○ ○ ○ ○	
調節ノズル等の有無			○	
動力伝達系統			○	
配管系統			○	
防護対策			○	

2019 年基準安全装備検査			2018 年基準安全装備検査		
7. 動力噴霧機 (走行式)			7. 動力噴霧機 (走行式)		
項目		判断	備考		
形式		×	自走/搭載/けん引・車輪式/ 履帯式・車輪数・2 駆/4 駆・ 片ブーム/両ブーム		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10% (これを超えるものは、 変更の内容により判定)		
	質量	△			
	軸距	△			
機関	種類/型式	×			
	定格出力	×			
	機関その他仕様	○			
走行部	変速装置	△			
伝導部	走行部その他の仕様	○			
装着・けん引方式		○			
給水ポンプ		○			
薬液タンク	呼称容量	△	0~10%超は別型式		
	薬液タンクその他の仕様	○			
攪拌装置		○			
項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考	
大きさ	全長	△	±10% 以下		
	全幅	△	±10% 以下		
	全高	△	±10% 以下		
機関	燃料の種類		○		
	出力		○		
	回転速度		○		
	総排気量		○		
	行程数		○		
走行部	気筒数		○	自走、搭載、けん引式の別 3、4、6、8 輪式の別	
	冷却方式		○		
走行部	始動方式		○	シングル、ダブルの別は○ 油圧式、機械式の別	
	形式	×			
	車輪数	×			
	車輪寸法		○		
	軸距	△	±5% 以下		
	軸距	△	±5% 以下		
	最低地上高		○		
	速度段数		○		
	作業速度		○		
	変速機構	×			
2 駆・4 駆の別	×				
倍力装置		○			
装着方式			○		
けん引方式			○		

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

薬液混合機	有 形	無 式		○ ○	
畦畔散布ノズル等	型式名 常用ノズル圧力 噴霧ホース長さ " 内径 ホース巻取方式 穴径、個数、配列			○ ○ ○ ○ ○	
ブームノズル等	ブーム長さ 穴 径 個 数 配 列 常用ノズル圧力 開 閉 方 式 地上高さ調節範囲	△	△	○ ○ ○ ○ ○	片ブーム、両ブームは×、片ブーム旋回装置の有無は○
調節ノズル等の有無				○	
動力伝達系統				○	
配管系統				○	
防護対策				○	

2019年基準安全装備検査

10. 動力刈取機(結束型)

項目		判断	備考
呼称刈取条数		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10% (これを超えるものは、 変更の内容により判定)
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
走行部	車輪数	×	
	走行部その他の仕様	○	
前処理部	分草板(桿)の個数/先端間隔	△	
	引起装置の形式	×	
	引起爪の列数	×	
切断部	切断部形式	×	
	刃幅	△	±20%
	切断部その他の仕様	○	
搬送部機構		△	
結束部	結束部形式	×	
	結束部その他の仕様	○	

2018年基準安全装備検査

10. 動力刈取機(結束型)

項目		別型式	同一型式	備考
呼称刈取条数		×		
大きさ	全長		○	
	全幅		○	
	全高		○	
	乾燥質量	△	△	
機関	銘柄型式名		○	
	種類		○	
	定格出力		○	
	燃料の種類		○	
走行部	始動方式		○	
	車輪の種類・大きさ		○	大きさは±10%以下
	車輪の個数	×		
	輪距		○	
変速段数	△	△		
前処理部	走行速度		○	
	分草板(桿)の個数・先端間隔	△	△	
	引起装置の形式	×		
	引起爪の列数	×		
切断部	形式	×		
	刃幅	×	±20%以下	
	刈高さ		○	
搬送部機構		△	△	

2019 年基準安全装備検査

放出部	放出部形式	△	
	放出部その他の仕様	○	
安全防護装置		△	

2018 年基準安全装備検査

結 束 部	形 式	×		
	束の大きさ調節段数		○	
	ひもの種類・大きさ		○	
放 出 部 の 形 式		△	△	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

11. コンバイン(自脱型)

項目		判断	備考
形式	タンク式/袋詰め式・車輪式 /履帯式	×	
	自動操舵装置	△	※1
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※2
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
走行部	変速装置	○	
	走行装置	○	
伝動部		○	
前処理部	刈取条数	×	
	前処理部その他仕様	○	
切断部	切断部形式	×	
	切断部その他仕様	○	
搬送部		○	

11. コンバイン(自脱型)

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類	乗用、歩行の別 タンク式、袋詰め式の別	×		
大きさ	全長		○	
	全幅		○	
	全高		○	
	質量		○	
走行部	走行部方式 変速機構 走行変速段数	×	○ ○	履帯と車輪 無段、有段
	走行速度 最高作業速度		○ ○	最高作業速度：±15%
	最低地上高 駆動輪の位置 懸架の方式 履帯中心距離 履帯幅 履帯リンク数 履帯平均接地圧	×	○ ○ ○ ○ ○ ○	前後
機関	冷却方式 気筒数 定格出力		○ ○ ○	高性能の類別にかかわる場合は 別型式
	燃料の種類 始動方式 総排気量		○ ○ ○	
	伝動部	クラッチの種類 減速機構		

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

脱穀部	こぎ胴	△	こぎ胴幅または径は×
	処理胴	○	
	受網	○	
	脱穀部その他仕様	○	
選別部	選別部形式	×	
	選別部その他の仕様	○	
穀粒搬送部		○	
排わら装置		○	
自動化装置		○	
安全防護装置		△	

前処理部	刈 取 条 数	×	○	
	分草装置及び個数		○	
	最外側先端間隔		○	
	引起装置形式	×	○	
	取付角度		○	
	引起チェーン速度		○	
切断部	引起爪の大きさ		○	高性能の類別にかかわる場合は別型式
	引起爪の取付ピッチ		○	
	切断部形式	×	○	
	刃 幅		○	
	切断刃種類		○	
	切断刃往復回数		○	
搬送部	前処理切断部の上下方式		○	手動、油圧
	前処理切断部の上下範囲		○	
	搬送チェーン本数		○	
	搬送チェーン速度		○	
	搬送チェーン爪の大きさ		○	
	搬送チェーン爪のピッチ		○	
脱穀部	フィードチェーン速度		○	
	こぎ胴径	×		
	こぎ胴幅	×		
	こぎ歯種類		○	
	こぎ胴回転速度		○	
	受網の種類		○	
受網の目開き		○		
処理胴径		○		
処理胴幅		○		

※1 新たにロボット・自動化農機検査を必要とするものは別型式

※2 同一型式と認められるクローラ等の変更やキャビン等の有無に関連して10%を超える場合は同一型式

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

選別部	選別部形式	×	○	
	揺動板形式		○	
	揺動板振動数		○	
	圧風ファン回転速度		○	
吸引ファン回転速度	○			
穀粒処理部	搬送方式		○	
	搬送部回転速度		○	
排わら装置	カッタの種類		○	
	集束装置の種類		○	
	結束装置の種類		○	
その他の装置	自動化装置		○	
	安全防護装置		○	

2019 年基準安全装備検査

12. コンバイン(普通型)

項目		判断	備考
形式	タンク式/袋詰め式・車輪式 /履帯式	×	
	自動操舵装置	△	※1
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10% (これを超えるものは、 変更の内容により判定) ※2
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
走行部	変速装置	○	
	走行装置	○	
伝動部		○	
ヘッダ 部	切断部形式	×	
	切断部その他の仕様	○	
エレベータ幅		○	

2018 年基準安全装備検査

12. コンバイン(普通型)

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類	タンク式、袋詰め式の別	△	△	
大きさ	全長		○	
	全幅		○	
	全高		○	
	質量		○	
走行部	形式	×		前後
	変速機構		○	
	走行変速段数		○	
	走行速度	△	△	
	駆動輪の位置	×		
	懸架の方式		○	
	履帯中心間距離		○	
	履帯幅		○	
	履帯リンク数		○	
	履帯平均接地圧		○	
機関	冷却方式		○	
	気筒数		○	
	定格出力		○	
	燃料の種類		○	
	始動方式		○	
変速機	クラッチの種類 減速機構		○ ○	

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査			
脱穀部	脱穀部形式	×		ヘッド 部	種類		○
	こぎ胴	△	幅は±5%、こぎ歯先端径は×		リール作用幅		○
	受網	○			リール回転径		○
	処理胴有無	×			切断部形式	×	
	脱穀部その他仕様	○			刃幅		○
選別部	選別部形式	×		切断刃往復回数		○	
	選別部その他の仕様	○		プラットフォームコンパヤの有無		○	
穀粒搬送部		○		オーガ羽根外径		○	
排わら処理装置		○		エレベータ幅		○	
自動化装置		○		脱穀部	形式	×	
安全防護装置		△			こぎ胴幅	△	±5%以下
					こぎ歯先端回転径	×	
					こぎ歯種類		○
					こぎ胴回転速度		○
				受網の種類		○	
				受網の目開き		○	
				処理胴の有無	×		
				処理胴径		○	
				処理胴幅		○	
				選別部	形式	×	
					揺動板形式		○
					揺動板振動数		○
					圧風ファン径		○
				圧風ファン回転速度		○	
				穀粒搬送方式		○	
				穀粒搬送部回転速度		○	
				排稈処理装置		○	
				自動化装置		○	

※1 新たにロボット・自動化農機検査を必要とするものは別型式

※2 同一型式と認められるクローラ等の変更やキャビン等の有無に関連して10%を超える場合は同一型式

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査				
13. フォーレージハーベスター				13. フォーレージハーベスター				
項目		判断	備考	項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
形式		×	自走/搭載/半搭載/けん引 装着方法・積載装置	種類	形式 装着方法 積載装置の有無	×		自走、搭載、半搭載、けん引の別 ワゴン
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大きさ	全長	△	±10%以下 ±10%以下 ±10%以下 ±10%以下	
	質量	△			全幅	△		
機関	種類/型式	×			全高	△		
	定格出力	×		質量	△			
	機関その他の仕様	○						
伝動系統		△		機関	型式名 種類 定格出力 定格回転速度		○ ○ ○ ○	機関は自走式の場合
刈取部	刈取部形式	×	±5%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	伝動系統		△	△	
	刃幅	△		刈取部	形式	×	○ ○ ±5%以下 ○ ○ ○	
	刈取部その他の仕様	○			回転速度・往復回数 ナイフの数・形状 刃幅			
供給部	供給部形式	×		刈取部	刈刃の回転半径 昇降方式 刈高さ調節方式	△	○ ○ ○	
	供給部その他の仕様	○						
拾上部	拾上部の種類/形式	×	ヒックアップユニットの場合	供給部	形式 寸法・構造	×	○	
	拾上部その他の仕様	○						
刈取・ 搬送部	刈取部形式・作業幅	×	ロークロープユニット・コン専用機の場合					
	ナイフ数	×						
	掻込み及び搬送部	×						
	刈取・搬送部その他仕様	○						

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査					
細断部	細断部の種類/形式	×	フラインク・シリンダ [®] 式の場合	拾上 部	種類と形式等 作業幅	×	△	±5%以下	ヒックアップユニットの場合
	細断部その他の仕様	○			タ イ ン	数 先端速度又は 回転速度			
吹上部	吹上部の形式	×		刈 取 ・ 搬 送 部	上下調節方法 掻込み及び搬送部	×		○	ロークロップユニット及びボン専用機の場合
	吹上部その他の仕様	○			ナイフ	数 回転速度	×		
積載装置		○		細 断 部	上下調節方法 掻込み及び搬送部	×		○	フラインク・シリンダ [®] -式等の別 取付部本体は同一構造に限る
走行部	車輪数	×			形 式	×			
	走行部その他の仕様	○		回 転 速 度	△		△	△	
安全防護装置		△		吹 上 部	ナイフの 数			○	形式 直径×幅 羽根の数 ブローワの回転速度 シュートの回転角 シュートの位置調節方式 デフレクタの調節方式
					ナイフの 形状			○	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

積載装置	容量 形状及び構造 排出方法	△	○ ○ △	
走行部	車輪の大きさ(直径) 変速段数 車軸回転速度 車輪の個数	△ ×	○ △ ○	走行部は自走式の場合
安全装備			○	

2019年基準安全装備検査

14. ポテトハーベスター

項目		判断	備考
形式		×	でん原用/食用・自走/搭載/けん引
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、変更の内容により判定）
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
伝動装置		○	
掘取部		○	
コンベア部		○	
デフレクター		○	
タンク		○	
排出機構		○	
掘取畝数		×	
走行部		○	
その他の仕様		○	
安全防護装置		△	

2018年基準安全装備検査

14. ポテトハーベスター

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類	でん原用から食用への変更	×		
	自走・搭載・けん引の別	×		
大きさ	全長	△	±10%以下	大きさは本機のみ
	全幅	△	±10%以下	
	全高	△	±10%以下	
	質量	△	±10%以下	
機関	型式名		○	機関は自走式の場合
	種類		○	
	定格出力		○	
	定格回転速度		○	
伝動装置	主クラッチの形式		○	チェーン式からベルト式、又はその逆の変更
	伝動方式		○	
	変速段数(自走式)	×	○	
	変速機形式(自走式)		○	
	走行系減速比(自走式)		○	
コンベヤの変速段数		○	機械式から油圧式、又はその逆の変更	
掘取部	コルターの形状・寸法	△	○	
	フレスローラの有無		△	
	フレスローラの形状・寸法		○	
	掘取刃の形式	△	△	
刃の長さ×全幅	○			
刃材		○		
深さ調節装置			○	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

コンベヤ類	形式 長さ × 幅	×	△	±20% × ±10%以下 ±20%以下	ロータリ・昇降機等の別 排出関係は除く	
	ロータリバケットの直径 周速又は線速度 材質		△	○ ○		
	デフレクターの形式				○	
	タンク	容量			○	
		形状及び構造			○	
	排出機構	形式 寸法			○ ○	油圧タンク・コンベヤ等の別
		圧容量 排出高さ	△		△ ○	
	掘取畝数		×			
	走行部	車輪径			○	
		車輪幅		△	△	
		車輪距			○	
		車輪の個数	×			
	車軸からヒッチ点までの距離				○	
	トラクターへの装着方法				○	
安全装備				○		
その他の装備	傾斜地用ステアリング装置			○		
	畝合せ装置			○		
	その他の付属装置			○		

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査				
15. ビートハーベスター				15. ビートハーベスター				
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考	
形式		×	自走/搭載/けん引	種類	自走・搭載・けん引の別	×		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これをを超えるものは、 変更の内容により判定）					
	質量	△						
機関	種類/型式	×		大きさ	全長	△	±10%以下	大きさは本機のみ
	定格出力	×			全幅	△	±10%以下	
	機関その他の仕様	○			全高	△	±10%以下	
			質量		△	±10%以下		
伝動装置		○		機関	型式名		○	機関は自走式の場合
タッピング部		○			種類		○	
茎葉処理部		○			定格出力		○	
掘取部		○			定格回転速度		○	
土砂分離機構		○		伝動装置	主クラッチの形式		○	機械式から油圧式、又はその逆の変更
コンベア部		○			伝動方式		○	
タンク		○			変速段数(自走式)		○	
排出機構		○			変速機形式(自走式)	×		
掘取畝数		×		タッピング部	走行系減速比(自走式)		○	
走行部		○			コンベヤの変速段数		○	
その他の仕様		○			形式	△	△	
安全防護装置		△		位置	△	△		
				ファイラホイール径×幅		○		
				ファイラホイールの列数		○		
				ナイフの長さ		○		
				茎葉処理部	方式		○	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

掘取部	コルターの形状・寸法			○	
	掘取刃	形式	△	△	
		刃の長さ×全幅 材質		○ ○	
	深さ調節装置			○	
土砂分離機構	形式		△	△	
	回転又は線速度			○	
コンベヤ類	形式		×	±20%× ±10%以下 ±20%以下 ○ ○	ロータリ・昇降機等の別 排出関係は除く
	長さ×幅		△		
	ロータリバケットの直径		△		
	周速又は線速度 材質				
タンク	容量			○	
	形状及び構造			○	
排出機構	形式			○	
	寸法			○	
	油圧容量	排出高さ	△	△ ○	
掘取畝数			×		
走行部	車輪径			○	
	車輪幅		△	△	
	車輪距			○	
	車輪の個数		×		
車軸からヒッチ点までの距離				○	
トラクターへの装着方法				○	

2019 年基準安全装備検査	2018 年基準安全装備検査													
	<table border="1" data-bbox="1169 252 2042 464"> <thead> <tr> <th data-bbox="1169 252 1267 304">安</th> <th data-bbox="1270 252 1464 304">全</th> <th data-bbox="1467 252 1565 304">装</th> <th data-bbox="1568 252 1711 304">備</th> <th data-bbox="1713 252 2042 304"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1169 306 1267 461">その他 の装備</td> <td data-bbox="1270 306 1464 461">傾斜地用ステア リング装置 畝合せ装置 その他の付属装置</td> <td data-bbox="1467 306 1565 461"></td> <td data-bbox="1568 306 1711 461">○ ○ ○ ○</td> <td data-bbox="1713 306 2042 461"></td> </tr> </tbody> </table>				安	全	装	備		その他 の装備	傾斜地用ステア リング装置 畝合せ装置 その他の付属装置		○ ○ ○ ○	
安	全	装	備											
その他 の装備	傾斜地用ステア リング装置 畝合せ装置 その他の付属装置		○ ○ ○ ○											

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査			
16. ビーンハーベスター				16. ビーンハーベスター			
項目		判断	改正後	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考
形式		×		種 類	×		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大 全 長 小 全 幅 質 高 量		○	搭載式は本体の質量
	質量	△			○		
機関	種類/型式	×		機 銘 柄 型 式 名 種 種 類 定 格 出 力 燃 料 の 種 類		○	冷却法、行程数など
	定格出力	×			○		
	機関その他の仕様	○			○		
走行部	走行部形式	×		走 形 式 行 車 輪 の 種 類 部 変 速 段 数 作 業 速 度 輪 距	×	○	車輪、履帯、自走、搭載式の別 定格回転速度時の値
	走行部その他の仕様	○			○		
前処理部	前処理部形式	△		前 形 式 処 分 草 桿 形 式 理 部 " 個 数 部 " 先端間隔	△	△	
	前処理部その他の仕様	○			○		
切断部	形式	×		形 式 切 刈 刃 の 径 断 部 平 均 刈 刃 速 度 刈 刃 の 種 類 切 断 面 の 形 状 上 下 方 式	×	○	回転刃、往復動刃 切断負荷による 手動と油圧は×、刈高さの調節 法、補助車輪の有無
	切断部その他の仕様	○			○		
搬送部	形式	×		収 刈 刃 の 径 束 部 平 均 刈 刃 速 度 部 刈 刃 の 種 類 切 断 面 の 形 状 上 下 方 式	×	○	
	搬送部その他の仕様	○			○		
収束部	収束部形式	×		伝 動 部		○	
	収束部その他の仕様	○			○		
伝動部		○		アタッチメント		○	
アタッチメント		○		安全防護装置		△	
安全防護装置		△					

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

搬送部	形 式 種 類 ・ 形 状 材 質 搬 送 速 度 搬 送 角 度 搬 送 距 離	× △	△ ○ ○ ○ ○	ベルト、チェーン
集束部	形 式 放 出 方 式 放 出 間 隔 放 出 方 向 集 束 容 量	× △ △	△ ○ △ ○	バケット、集積式 自動、手動、機構 0 定格回転時、自動の場合 設計寸法時の容量
伝動部	クラッチの種類 増減速機構 動力伝達系統	△ △	○ △ △	
アタッチメント			○	

2019年基準安全装備検査				2018年基準安全装備検査				
17. ケーンハーベスター				17. ケーンハーベスター				
項目		判断	備考	項目	別型式	同一型式	備考	
形式		×		種類	×			
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	形式	×			
	質量	△		大きさ	全長	△	△	大きさは標準装備の状態
機関	種類/型式	×	全幅	△	△	大きさは標準装備の状態		
	定格出力	×	全高	△	△			
	機関その他の仕様	○	質量	△	△			
伝動部/走行部		○		機	銘柄型式名		○	
分草引	分草引起部形式	×		種	種類	△	△	
	分草引起部その他の仕様	○		定	定格出力	×	-10~+20%	
株元切	ベースカッタ構造/枚数	×		定	定格回転速度	×	-10~+20%	
	株元切断部その他の仕様	○		燃	燃料の種類		○	
搬送部	搬送部形式	×		始	始動方法		○	
	搬送部その他の仕様	○		動	クラッチ形式		○	
さい断部	さい断部形式	×		力	変速形式		○	
	さい断部その他の仕様	○		変	変速形式		○	
部	さい断部形式	×		速	変速段数		○	
		○		走	走行速度	△	△	
	さい断部形式	×		部	タイヤの種類		○	
		○		・	と寸法	前輪		○
	さい断部形式	×		走	後輪		○	
		○		行	輪距	前後輪		○
さい断部形式	×		部	軸距		○		
さい断部形式	×		分	形式構造	×			
さい断部形式	×		草	主要寸法		○		
さい断部形式	×		引					
さい断部形式	×		起					
さい断部形式	×		部					

2019年基準安全装備検査			2018年基準安全装備検査		
夾雑物除去部		○			
脱葉部		○			
積込み排出部	積込み部地上高	×			
	積込み排出部その他の仕様	○			
収納部容量		○			
梢頭部除去部	梢頭部除去部形式	○			
	梢頭部除去部その他の仕様	○			
油圧装置		○			
安全防護装置		△			
株元切断部	ハースカッタの構造 枚数 刃先円直径 刈高さ調節範囲	×		○ ○	
搬送部	形式構造 主要構成部品、 寸法	×		○	
さい断部	形 式 回 転 直 径 ナイフの数 有効作用幅	×		○ ○ -10~+20%	
夾雑物除去部及び脱葉部	夾雑物除去方式 脱葉装置の 方式構造	△ △		△ △	
積込み排出部	積込み排出方式 積込み部地上高さ	△ ×		△ ±20%以下	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

収納部	収 納 量		○	
梢頭部	形 式	×		
除去部	作 用 幅	×	±20%以下	
油 圧 装 置	油 圧	形 式	○	
	ホ ン プ	吐 出 量	△	
		駆 動 方 式	○	
	トランスミッション形式		○	
	油 圧 モ ー タ	△	△	
	油 圧 シ リ ン ダ	△	△	

2019年基準安全装備検査

18. 動力摘採機

(自走式)

項目		判断	備考
形式		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
走行部		○	
刈刃	刈刃形式	△	
	搬送装置	×	
	刈刃その他の仕様	○	
送風機	送風機形式	×	
	送風機その他の仕様	○	
収葉部		△	
安全防護装置		△	

(携帯型・可搬型・背負型)

項目		判断	備考
形式		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）
	質量	△	

2018年基準安全装備検査

18. 動力摘採機

項目		別型式	同一型式	備考
自 走 式				
種類		×		
大きさ	全長		○	
	全幅		○	
	全高		○	
機関	銘柄型式		○	
	種類		○	
機関	定格出力	×	20%以下	
	始動方式		○	
走行部	履帯形式	×	○	
	接地長		○	
	履帯幅		○	
	輪距・軸距		○	
	操向方式	△	△	
	制御装置	△	△	
	クラッチ形式		○	
変速段数	変速段数		○	
	走行速度		○	
刈刃	種類		○	7インチとして交換できる場合 同上
	採幅		○	
	刈刃速度		○	
	駆動方式	△	△	
搬送装置	停止方法		○	
	搬送装置	×		

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査			
機関	種類/型式	×		送風機	形式	×	○
	定格出力	×			常用回転速度		○
	機関その他の仕様	○			駆動方式	△	△
電動機	種類/型式	×		集葉部			
	定格出力	×			△	△	
クラッチ種類		○		携帯型・可搬型・背負型			
刈刃	刈刃形式	×		種類	×		
	刈刃その他の仕様	○		大きさ	全長		○
	停止方法	○			全幅		○
全高						○	
送風機	送風機有無	×		質量		○	
	送風機型式	×		銘柄型式		○	
ハンドル長さ		○		種類		○	
安全防護装置		△		定格出力	×	20%以下	
				電動機	銘柄型式		○
				種類		○	
				定格出力	×	20%以下	
				クラッチの種類			○
刈刃	種類	×		刈刃	種類	×	20%以下
	採幅	×			刈刃速度		○
	刈刃速度				刈刃の停止方式		
送風機	有型	×		送風機	有型	×	
	無型	×			無型	×	
ハンドルの長さ				ハンドルの長さ			○

2019年基準安全装備検査

19. 動力刈取機（刈払型）※1

項目		判断	備考
形式		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
電動機	種類/型式	×	
	定格出力	×	
クラッチの種類		○	※2
駆動軸	駆動軸形式/長さ	×	
	傘歯車	△	
刈刃		△	※3
刈刃停止方法		○	
支持ハンドル		△	※4
安全防護装置		△	飛散物防護カバーを含む ※5

※1：変更によって刈刃に関する試験結果に影響が出る可能性があると考えられる場合には、確認試験を行う。その試験で基準不適合が出た場合の扱いは次のとおりとする。

- ①適合する刈刃がなくなる場合には別型式と判定する。
- ②一部の刈刃が不適合となった場合は、その刈刃は承認を取り消す。

2018年基準安全装備検査

19. 動力刈取機（刈払型）

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類		×		
大きさ	全長	△	△	※1
	全幅	△	△	※1
	全高	△	△	※1
	質量	△	△	※1
機関	銘柄型式	△	△	※1、※5
	種類	×		
	定格出力	×	20%以下	※1、※5
	最大出力時回転速度 アイトリング回転速度	△	△ ○	※1、※5 ※2、※5
電動機	銘柄型式	△	△	※1
	種類	×		
駆動軸		×		
クラッチの種類			○	※2
駆動軸	種類	×		
	長さ	×		
刈刃	傘歯車	△	△	※1
	種類		○	※3
直徑			○	※3
刈刃停止方法			○	
飛散物防護カバー			○	※4
支持ハンドル		△	△	※6

2019 年基準安全装備検査	2018 年基準安全装備検査
<p>※2：クラッチインとアイドルリングの回転速度の関係について確認する。</p> <p>※3：確認試験で基準に適合したものについて変更を認める。</p> <p>※4：種類の違いは別型式とする。</p> <p>※5：飛散物防護試験、防護カバー強度試験が導入された時には、確認試験で基準に適合したものについて変更を認める。</p>	<p>※1：変更によって刈刃に関する試験結果に影響が出るか、影響が出る可能性があると考えられる場合には、確認試験を行う。</p> <p>その試験で基準不適合が出た場合の扱いは次のとおりとする。</p> <p>①適合する刈刃がなくなる場合には別型式と判定する。</p> <p>②一部の刈刃が不適合となった場合は、その刈刃は承認を取り消す。</p> <p>※2：クラッチインとアイドルリングの回転速度の関係について確認する。</p> <p>※3：確認試験で基準に適合したものについて変更を認める。</p> <p>※4：飛散物防護試験、防護カバー強度試験が導入された時には、確認試験で基準に適合したものについて変更を認める。</p> <p>※5：エンジンに関する変更は騒音の確認試験を行う。</p> <p>※6：種類の違いは別型式とする。</p>

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査					
20. 自動脱穀機				20. 自動脱穀機					
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考		
形式		×		種類	×				
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大きさ	全長	○			
	質量	△			全幅	○			
機関	種類/型式	×		機関	乾燥質量	△			
	定格出力	×			型式	○			
	機関その他の仕様	○			種類	○			
走行部	走行部形式	×		機関	定格出力	○			
	走行部その他の仕様	○			燃料の種類	○			
脱穀選別部	こぎ胴径/幅	△	径±5%, 幅±20%	走行部	始動方法	○			
	処理胴径/幅	△			形式	×		輪距（又は軌距）	○
	脱穀選別部その他の仕様	○							
穀粒処理部	○		脱穀選別部	こぎ台長さ、幅、高さ	○				
排わら処理方式/排わら供給機構	○						主軸回転速度 （単体の場合）	○	主軸プーリ種類、大きさ
クラッチ	○	フィートチェーン速度	○	回転速度 径 / 幅	×/×	○ ±5%以下/ ±20%以下			
安全防護装置	△						受網の種類、目開き	△	処理胴径・幅
		揺動板（篩）揺動数	○	唐みファン回転速度範囲	○				
							吸引ファン回転速度範囲	○	

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

穀粒処理部	穀粒口揚穀機の種類		○	
	2番還元揚穀機の種類		○	
	穀粒処理方式		○	
	穀粒排出口の個数		○	
排わら処理方式・排わら供給機構			○	さい断機の変更は原則として現物を搬入する
クラッチ	主クラッチの種類		○	
	サイドクラッチの種類		○	
	脱穀クラッチの種類		○	
	さい断クラッチの種類		○	

2019 年基準安全装備検査			2018 年基準安全装備検査		
21. 豆用脱粒機			21. 豆用脱粒機		
項目		判断	備考		
形式		×			
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）		
	質量	△			
機関	種類/型式	×			
	定格出力	×			
	機関その他の仕様	○			
走行部	走行部形式	×			
	走行部その他の仕様	○			
脱穀選別部	こぎ胴径/幅	△	径±5%, 幅±20%		
	処理胴径/長さ	△	±20%		
	こぎ胴処理胴その他の仕様	○			
穀粒処理部	二番還元の有無	×			
	穀粒処理部その他の仕様	○			
排稗処理装置		○			
クラッチ		○			
安全防護装置		△			
項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考	
種類		△	△		
大きさ	全長		○		
	全幅		○		
高さ	全高		○		
	質量	△	△		
機関	型式		○		
	種類		○		
	定格出力/定格回転速度		○		
	燃料の種類		○		
走行部	始動方法		○		
	形式	×			
	輪距（又は軌距）		○		
脱穀選別部	前進速度		○		
	後進速度		○		
脱穀選別部	供給コンベア		○	プーリ、スプライン	
	供給台の大きさ		○		
	入力軸回転速度		○		
	入力軸の種類		○		
	こぎ胴回転速度		○		
	こぎ胴径×幅	×			
	受網の種類、目開き	△	△		
	処理胴径×幅	×	±20%		
揺動板・ふるい揺動数		○			
唐箕ファン回転速度		○			

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

穀粒処理部	揚穀機の種類 2番還元の有無 穀粒処理方式	×	○ ○	
排稈処理装置			○	
クラッチ			○	
その他の装置		△	△	

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査					
24. 乾燥機（穀物用循環型）				24. 乾燥機（穀物用循環型）					
項目		判断	備考	項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考	
形式		×		種類		×			
大きさ	全長・全幅	△	標準装備の状態	大きさ	全長	△	△	大きさは標準装備の状態	
	全高	○			全幅	△	△		
	質量	○			全高	△	△		
電動機（送風機用）		○		電動機			○		
送風機	種類	△	50/60Hz の対応は同一型式	送風機	圧送用	形式及び型式	△	△	電源周波数 50/60HZ に対応するために変更する場合は同一型式
	型式	△			吸引用	形式及び型式	△	△	
	送風機その他仕様			○					
火炉	形式	×		火炉	形式及び型式 点火方法		×	○	
	型式	×			乾燥箱	形式及び層数 穀物収容量	×	○	最大呼称もみ張込量が異なるときは別型式
	火炉その他仕様		○			穀物搬出装置 循環量調節機構		○	
搬送部	穀物均分装置	△		搬送部	穀物均分装置	△	△	想定できない特別のもの以外は同一型式	
	穀物横送り搬送機形式	△			揚穀機の種類 穀物横送り搬送機の種類 (均分装置以外)	△	○		△
	揚穀機形式	○							
乾燥箱		○							
制御部		×							
安全防護装置		△							

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査				
25. もみすり機				25. もみすり機				
項目		判断	備考	項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
形式			×	種類		×		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大きさ	全長		○	大きさは標準装備の状態
	質量	△			全幅	○		
機関	種類/型式	×		原動機	種類	銘柄型式 種類 定格出力 燃料の種類	○	
	定格出力	×					○	
	機関その他の仕様	○					○	
電動機	種類/型式	×		電動機	種類	銘柄型式 種類 定格出力	○	
	定格出力	×					○	
機体枠組材料		○		機体枠組材料		△	△	
主軸回転速度		○		主軸回転速度			○	
脱ぶ部	ゴムロール形式	×						
	ゴムロール径/幅	×						
	脱ぶファン径/幅・羽枚数	×						
	脱ぶ部その他の仕様	○						
風選部	主唐箕/仕上げ唐箕形式	×						
	風選部その他の仕様	○						
搬送部		○						

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査						
万石	万石形式	×		脱ぶ部	ゴムロール式	ゴムロール形式 ゴムロールの 直径×幅 高低速軸 回転速度	×	×	○	
	万石その他の仕様	○			衝撃式	脱ぶファンの 外径 脱ぶファンの幅 羽根枚数 脱ぶファン回 転速度	×	×	×	○
安全防護装置		△		風選部	主唐箕	形式 常用回転速度	×		○	
					仕上唐箕	形式 常用回転速度	×		○	
				搬送部	揚穀機の種類 横送り穀粒搬送機の種類 (しいな口等)			○	○	
				万口	種類 揺動式の場合の揺動数	×			○	

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査				
26. 大豆選別機				26. 大豆選別機				
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考	
形式		×		種類	×			
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大きさ	全長	○		
	質量	△			全幅	○		
電動機	種類/型式	×	電動機		全高	○		
	定格出力	×			質量	○		
ホッパ容量		○		銘柄型式		○		
昇降装置		○		種類		○		
粗選装置有無/方式		△		定格出力/定格電圧		○		
選別部	選別部形式	×	±5%	ホッパの容量		○		
	ベルト長さ幅	△		昇降装置		○		
	ベルト角度	△		粗選別装置の有無・方式		△	△	
	選別部その他の仕様	○		形式		×		
補助選別装置有無		×		選別部の長さ×幅	×	±5%		
2番還元の有無		×		ベルトの材質		○		
粒選機	有無/形式	×		ベルト表面の形状		○		
	粒選機その他の仕様	○		ベルト速度		○		
安全防護装置		△		ベルト角度	△	△		
				補助選別装置の有無		×		
				2番還元の有無		×		

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

粒 選 機	粒 選 機 の 有 無	×		
	形 式	×		
	回 転 速 度 網 目		○ ○	
そ の 他 の 装 置		△	△	

2019 年基準安全装備検査

27. 単軌条運搬機

項目		判断	備考
形式		×	
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）
	質量	△	
機関	種類/型式	×	
	定格出力	×	
	機関その他の仕様	○	
伝動装置		△	減速比±5%、速度±10%以下
制動装置		△	※1
安全防護装置		△	

※1：変更内容により関係する試験を実施する。

2018 年基準安全装備検査

27. 単軌条運搬機

項目		別型式	構造変更等 同一型式	備考
種類		×		
大きさ	全長		○	
	全幅		○	
	全高		○	
	質量	△	±10%以下	
機関	銘柄型式		○	関係する試験を実施する
	種類		○	
	定格出力	×	20%以下	
	回転速度	△	±10%以下	走行時の設定回転速度
伝動装置	クラッチの種類	△	△	
	減速比	△	±5%以下	
	走行速度	△	±10%以下	
制動装置	降坂ブレーキ	△	△	※1
	駐車ブレーキ	△	△	※2
	緊急ブレーキ	△	△	※3

※1：ブレーキの形式、径、材質、ブレーキ軸回転速度等を含めて変更の内容により関係する試験を実施する。

※2：ブレーキの形式、径、材質等を含めて変更の内容により関係する試験を実施する。

※3：ブレーキの形式、径、材質、作動型式、設定回転速度等を含めて変更の内容により関係する試験を実施する。

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査			
28. 農用運搬機 ※1				28. 農用運搬機（乗用型）			
項目		判断	備考	項目	別型式	構造変更等 同一型式	備考
形式		×		種 類	道路運送車輛法に基づく同一型式の範囲		
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）	大 き さ	全長	〃	
	質量	△			全幅	〃	
機関	種類/型式	×			全高	〃	
	定格出力	×		全質量	〃		
	機関その他の仕様	○		機 種	銘 柄 型 式	〃	
伝動部/走行部		○	機 関	呼 称	類 類	〃	
積載部		○		呼 称	出 力	〃	
散布装置		○		総 排	気 量	〃	
P T O		○		変 速 段 数	〃		〃
作業機昇降装置		○	大 小 寸 (タイヤ等)		〃		
安全防護装置		△		軸 距	〃		○ 1m/s 以内の変更
			最 低 速 度		〃		
			積 載 部	農産物を積下す装置	○		
			積 載 部	積 載 部 の 大 小 寸	道路運送車輛法に基づく同一型式の範囲		
			最 大 積 載 量	〃			
			散 布 装 置	農用資材散布装置の名称	○		
				散布可能な農用資材	○		
				散布装置の固定方法	○		

※1：道路運送車両法の小型特殊自動車の範囲にあること

2019 年基準安全装備検査

2018 年基準安全装備検査

P T O	P T O の 有 無 軸 の 規 格 回 転 速 度	×	○ ○ ±10%以下	
作業機 昇 降 装 置	作業機昇降装置 の有無 形 式 作業機装着装置 の形式		○ ○ ○	
型式認定又は型式指定を受 けたときの型式名及び番号		道路運送車輛法に基づく同一型式の範囲		

2019 年基準安全装備検査				2018 年基準安全装備検査			
29. 乗用草刈機				29. 乗用草刈機			
項目		判断	備考	項目		判断	備考
形式		×	※2	形式		×	※1
大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※3	大きさ	全長・全幅・全高	△	±10%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※3
	質量	△			質量	△	
機関	種類/型式	×	※3	機関	種類/型式	×	※2
	定格出力	×	※3		定格出力	×	※2
	機関その他の仕様	○	※3		機関その他の仕様	○	※2
伝動系統		△	※4	伝動系統		△	※3
走行装置		○	※5	走行装置		○	※4
刈取部	刈取部形式	×	※6	刈取部	刈取部形式	×	※5
	刃幅(刈幅)	△	±5%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※7		刃幅(刈幅)	△	±5%（これを超えるものは、 変更の内容により判定）※6
	刈取部その他の仕様	○			※8	刈取部その他の仕様	
集草装置		○	※9	集草装置		○	※8
積載装置		○	※9	積載装置		○	※8
自動化装置		○	※10	自動化装置		○	※9
安全防護装置		△	※11	安全防護装置		△	※10

- ※1：刈取部のマウント。
- ※2：全機種共通。
- ※3：機械式/油圧式、クラッチ形式、速度段、作業機駆動方式等。
- ※4：車輪・履帯の別。
- ※5：ロータリ式/フレール式/レシプロ式等。
- ※6：刃幅。
- ※8：ナイフ種類(バーナイフ、フリーナイフ、クロスナイフ)、連数を含む。
- ※9：当該装置の「有無」を含む。
- ※10：ロボット化のための装置は含まない。
- ※11：安全性検査における確認項目に関わる装備。全機種共通。

- ※1：刈取部のマウント。
- ※2：全機種共通。
- ※3：機械式/油圧式、クラッチ形式、速度段、作業機駆動方式等。
- ※4：車輪・履帯の別。
- ※5：ロータリ式/フレール式/レシプロ式等。
- ※6：刃幅。
- ※8：ナイフ種類(バーナイフ、フリーナイフ、クロスナイフ)、連数を含む。
- ※9：当該装置の「有無」を含む。
- ※10：ロボット化のための装置は含まない。
- ※11：安全性検査における確認項目に関わる装備。全機種共通。